

〈作品〉

作品「鳥取グルメ」

前 田 夏 樹

Natsuki MAEDA :
A Work “Tottori Gourmet”

鳥取看護大学・鳥取短期大学研究紀要 第74号 抜刷

2017年1月

〈作品〉

作品「鳥取グルメ」

前田 夏樹¹

Natsuki MAEDA : A Work "Tottori Gourmet"

本作品は地元新聞社の主催するコンテストに出品したもので、もっと元気なとっとりを基本テーマとし、鳥取県のグルメとしての梨をお題に制作した広告作品である。表現方法にはイラストレーションを用い、絵本をモチーフに制作した。

キーワード：広告 鳥取グルメ 梨 イラストレーション 絵本

本作品は地元の新聞社が発刊40周年を記念した広告作品コンテスト「みらいとっとり」に出品したものである。この企画は「もっと元気な鳥取県」を基本テーマとし、さらに実行委員が用意した「お題」について広告作品を制作するものである。

「お題」は観光、国際交流、子育て、エコ、産業、食、伝統芸能・工芸など様々なジャンルから設定されており、各制作者への抽選によって「お題」が割り当てられる。

制作に参加したのは県内在住、または出身のデザイナーを中心としたクリエイターで、それぞれの「お題」をもとに写真、イラスト、文字（コピー）など自由な表現で作品を制作するものである。

今回自身に与えられた「お題」は、「鳥取グルメ」で、さらにカニ、梨、和牛の中から一つを選択するとされた。そこで、ここでは梨を選択した。

制作の手順は、まずコンセプトを固め、それに適した表現方法を選択するというのが一般的かもしれないが、今回はまず表現方法から先に決めていった。

コンテストの作品は個人制作だけでなく、グループでの制作も可能で、例えば写真を撮るカメラマン、イラストを描くイラストレーター、全体のまとめ役（ディレクター）など、それぞれの分野の専門家が役割分担を行って制作することができる。自身は個

人で制作ということもあり、まずは得意とする分野での表現を行うことを考え、イラストレーションによる表現方法を選択した。

ここからアイデアをいくつか考えていったのだが、最終的に白雪姫の物語を絵本のように表現することにした。絵本はさまざまな物語をイラストレーションを用いて表現するものであり、イラストレーションという表現方法を活かすことができる。そして物語は世代を超えて多くの人を知るものであり、たくさんの人に情報を発信する広告というメディアにおける表現方法として適していると考えたからである。

また作品中に「鳥取の梨のヒミツ」とした梨に関する情報を加えることで、作品の物語を補足し、情報発信という広告としての機能を深めるものとした。

今回のコンテストに参加することで、広告というメディアについて改めて考えることができ、同時に制作の難しさを体験することができた。今後もこのような機会があれば積極的に参加したい。

本作品を含む全53作品は約2カ月間にわたり、新聞紙面に掲載され、その後web、パネル展、ハガキによる人気投票が行われた。その結果7作品に対し大賞、県知事賞、スポンサー賞などの賞が贈られ、幸いにも自身の作品もそのうちのスポンサー賞に選んでいただいた。投票をはじめ応援をしてくださったすべての方々に感謝を申し上げます。

1 鳥取短期大学生生活学科



とつとりの
 しらゆきひめは、
 おばあさんからもらった
 『ナシ』をたぐ、
 げんまにつつくしく
 せらちもち、
 おつじちまといけこんして
 いつまでもしあわせに
 くらしましたとち。
 めでたし、めでたし。

鳥取の梨のヒ・ミ・ツ

鳥取県が日本一の生産量を誇る二十世紀梨は、他の多くの梨と違い袋かけを2回行います。袋かけは1つ1つの梨に対して行うもので、1回でも大変なこの作業を2回行うのには、それなりの費用と労力が必要で簡単なことではありません。しかしこの作業を行うことで病気の被害や、日光による日焼けを防ぎ、白雪姫のように美しい肌をもった梨ができるのです。

このように農家の方々に大事に愛情をこめて育てられ、鳥取の豊かで美しい水や土や自然の中で成長した梨は、私たちの心も美しく育んでくれることでしょう。

主催 みらいとっとり実行委員会
 新日本海新聞社

共催 鳥取県

Graphic Illust 前田 夏樹

KOM 株式会社

出版 鳥取短期大学住居・デザイン専攻

鳥取県を元気にする未来報告 | 鳥取県株式会社

シリーズ

特別協賛 TOTTORI BANK 鳥取銀行

山崎製菓グループ

テーマ 鳥取グルメ

鳥取グルメ 全6段 (204 × 377.5mm)

前田 夏樹

鳥取を元気にする未来報告 |

みらいとっとり

日本海新聞 発行
 40周年広告企画